

# 6月のおすすめ本

『政治を再建する、いくつかの方法 政治制度から考える』【分類 2101/ナ】

大山礼子/著 日本経済新聞出版社 2018年

2018年5月、政治分野における男女共同参画法が成立しました。各国はクオータ制を導入するなど努力して女性議員が増えているのに、日本は2018年現在、衆議院の女性議員比率10.1%で191カ国中の158位です。また2017年の衆議院総選挙の投票率は20代が35.6%で若者の政治への関心が低くなっているのが気になります。大多数の人が政治は変えられないと思っていると本当に変えられなくなってしまうと著者は警告します。何が問題でどう改革すればいいかのヒントが満載で読み応えがあり、おすすめです。

『一度死んだ僕の、車いす世界一周 No Rain, No Rainbow』【分類 2113/ミ】

三代達也/著 光文社 2019年

「飛行機は車いすでも乗れるのか?」「外国のホテルはバリアフリーなのか?」と18歳から車いす生活を余儀なくされた著者は思っていました。「でも大丈夫。僕は18歳で一度死んでいるから」と、270日間、介助者なしの世界一周ひとり旅へ出かけます。行く先々で起こる出来事にハラハラします。著者は世界共通のバリアフリーは「人」と説きます。本書を読んで著者と一緒に人と心のバリアフリー世界一周の旅に出かけましょう。

『ルポひきこもり未満 レールから外れた人たち』【分類 3210/イ】

池上正樹/著 集英社 2018年

「ひきこもり」と呼ばれる人たちは、取り巻く家庭や世代、立場等が実に多様です。そして、人によっては周囲から受けた苦しみから、社会との関係を永遠に遮断する選択をとってしまいます。多くの自治体等で支援は行われているものの、社会的孤立状態に陥った人々にとって、設定されたゴールにズレを感じ、更に孤立してしまう要因になってしまうこともあります。本書では、それぞれの事例や当事者の切実な声を伝えてくれます。

\*福島県男女共生センター図書室 3階\*